



地域の活性化と都市農村交流

しかだやま

鹿田山周辺広域協定（群馬県みどり市）

○当組織は、群馬県東部の渡良瀬川の大間々扇状地中央に位置する畑地帯で活動を実施している。

近年混住化や高齢化の進行により、共同活動が低調化している中、鹿田山周辺の畦道のフットパス（散策路）整備、特別支援学校との農福連携、耕作放棄地を解消し農業体験や景観植物の植栽などを行い地域の活性化にも貢献している。

【地区の概要】

- ・取組面積:343ha(田75ha,畑268ha)
- ・資源量：開水路 37.0km
パイプライン 82.0km
農道 162.6km
ため池 5ヶ所
- ・構成員：自治会、土地改良区、JA、老人会等
- ・交付金：約18百万円
農地維持支払
資源向上支払(共同活動、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 農業者の高齢化の進行及び離農者により、地区内には遊休化する農地が点在するようになっていた。
- 一方で、混在化も急速に進行し、農業者と非農業者の意識の違いや住宅の増加による生活環境等の変化により、農地や水路等の保全が困難となりつつあった。
- これらのことから、従前から行われていた水路の泥上げや畦の草刈りへの共同作業が減少し、里山の管理が行き届かなくなり、地域環境が悪化していた。

取組内容



遊休農地の解消



園児による植栽風景



フットパスとしての農道整備

- 地域景観に配慮した植栽による遊休農地の解消や、保育機関及び特別支援学校が参画した農業体験、フットパスとしての農道を整備している。

活動の効果



ひまわり畑の風景

フットパスコース

- 遊休農地に植栽したひまわりの開花時期にひまわり祭りを開催し、毎年多くの来場者があり観光スポットになっている。
- 整備したフットパスコースは地域の憩いの場となるとともに、最近では近隣の市町村からの来訪者もある。